（２）意欲ある人材の確保・育成

新規参入者や女性など、産地が主体となって栃木で農業に取り組む多様な人材の確保・育成を進めています。

① 将来を担う新規就農希望者の確保

○ 情報発信を強化し、県内外・農内外から新規就農者を呼び込む

- 本県農業の担い手を県内外から呼び込むため、就農支援サイト「トチノ」で先輩農業者の活躍する姿等を発信しました。併せて、本年度県内全市町の特集記事を掲載し、本県農業の魅力発信を強化しました。
- また、7月と11月には就農相談会「トチノフェア」を開催し、県内外の就農希望者計125名が参加し、市町や団体、生産者ブースで、就農に向けた技術研修や農地確保、資金調達など熱心な相談が行われました。
- 今後も、農作業体験や就農相談等の情報発信を強化し、着実に就農できるよう支援していきます。





トチノフェアの様子

（経営技術課）

○ 畜産担い手の育成のための研修機会の提供

- 県では、後継者や若手生産者を対象とし、技術力向上や経営力強化に向けた研修会を開催しています。
- 8月の繁殖雌牛の手入れ技術を学ぶ勉強会では、県内の若手生産者や高校生など約180名が参加し、実際に牛に触れる実践形式で、理解を深めました。
- また、12月に農業大学校の生徒等を対象に蜜蜂の生態や花粉交配用蜜蜂の取扱い方法など、養蜂について学ぶ特別授業を実施しました。
- 今後も、農業団体等と連携し、現場のニーズに応じた研修会等の実施により、畜産経営の安定化につなげていきます。



繁殖雌牛手入れ勉強会



蜜蜂を学ぶ特別授業

（畜産振興課）

（２）意欲ある人材の確保・育成

新規参入者や女性など、産地が主体となって栃木で農業に取り組む多様な人材の確保・育成を進めています。

① 将来を担う新規就農希望者の確保

○　市やJA等と連携した研修制度により新規就農者が増加（上都賀地域）

- いちご、にらの新規就農者の確保に向け、鹿沼市及び日光市と協力して就農促進に取り組んでいます。
- 市農業公社や農業者のほ場において収穫体験会等を開催し、計17名が参加しました。体験に併せて、研修を経て就農する具体的なメリット等も紹介しました。
- 令和8年度には研修制度を修了した10名が就農する予定です。
- 今後も地域との密接な連携により、就農希望者の円滑な就農・定着化を支援していきます。



にら収穫体験会



いちごのパック詰め体験

（上都賀農業振興事務所）

○　青少年クラブ協議会が農業高校に出前講座（下都賀地域）

- 新規就農者の減少に対応するため、下都賀地区青少年クラブ協議会が栃木農業高等学校の生徒を対象に農業の魅力を伝える出前講座を開催しました。
- 講座では、クラブ活動やクラブ員自身の就農経緯、経営目標などを紹介した後、農業について生徒と討議しました。
- 生徒たちの農業への理解を深めるとともに、就農が将来の進路の選択肢となることを期待し、今後も出前講座を継続する予定です。



クラブ員から
いちごの経営を紹介



高校生とともにグループ討議

（下都賀農業振興事務所）

（２）意欲ある人材の確保・育成

新規参入者や女性など、産地が主体となって栃木で農業に取り組む多様な人材の確保・育成を進めています。

① 将来を担う新規就農希望者の確保

○「就農相談フェアinしおなん」の開催（塩谷南那須地域）

- 地域農業の持続的発展には、未来を担う人材を安定的に確保し、育成していくことが重要です。
- 令和7（2025）年度は、新たに地域版就農相談フェアを開催し、市町やJA等が設置した就農相談ブースには、県内外から7名の就農希望者が相談に訪れました。
- 引き続き、関係機関と団体が連携して就農希望者等に対応するとともに、次年度以降も就農相談フェア等を通じて就農希望者の確保に努めます。




就農相談フェアの様子

（塩谷南那須農業振興事務所）

○ 中学生向け農業講話の実施（那須地域）

- 若年層に農業の魅力を伝え、職業選択の一つとして認識してもらうため、那須塩原市内の2校で農業講話を実施しました。
- 地域で活躍する若手農業者が、スマート農業の活用や農業の魅力、やりがいについて話しました。
- 講話後には生徒から「農業に関心を持てるようになった」という声が多く寄せられました。
- 今後も講話を継続し、若い頃から農業に関心を持つきっかけづくりに取り組んでいきます。




農業講話の様子

（那須農業振興事務所）

（２）意欲ある人材の確保・育成

新規参入者や女性など、産地が主体となって栃木で農業に取り組む多様な人材の確保・育成を進めています。

① 将来を担う新規就農希望者の確保

○ JA佐野がトレーニングファームを整備（安足地域）

- JA佐野は、新規就農者が円滑に就農できるようにトレーニングファームを整備しました。
- 篤農家の下で1年間研修した後に、スマート農業が実践できる施設で1年かけて栽培技術や経営管理技術を修得します。
- このトレーニングファームを活用して、新規就農者を県外からも呼び込み、スマート農業機器を活用できる農業者が確保されることが期待されます。





トレーニングファームの外観
（安足農業振興事務所）



（２）意欲ある人材の確保・育成

新規参入者や女性など、産地が主体となって栃木で農業に取り組む多様な人材の確保・育成を進めています。

② 女性が活躍する環境づくり

○ 第6期とちぎの農業・農村男女共同参画ビジョンの策定

- 本県は、農業・農村男女共同参画の取組を進めており、家族経営協定の締結数や農業委員に占める女性の割合が全国トップレベルとなっています。
- より一層の男女共同参画の推進を図るため、関係機関・団体から構成される検討委員会を設置し、更なる女性登用の推進など、農村女性の活躍に向けた方策について検討し、第6期ビジョンを策定しました。
- 本ビジョンでは、「誰もが参画できる希望あふれる農業・農村の実現」を目指して、新たにアンコンシャス・バイアスの解消に向けた理解促進などに取り組むこととしています。



検討委員会の様子

（経営技術課）

○ 女性農業者の活躍を支援

- 女性農業者の活躍を促すため、新たなアグリビジネスの創出や課題解決に向けた専門家派遣等を支援しました。
- また、マルシェへの出展や販促レシピ等の開発など、9団体のトライアル活動を支援しました。
- さらに、経営課題解決に向けた雇用・労務、経営管理等のスキルを獲得するアグリビジネスセミナー（計7回）や女性農業者フォーラムを開催しました。
- 今後も女性農業者のロールモデルの情報発信等により、未来を創る女性農業者の育成を図ります。



アグリビジネスセミナー



女性農業者フォーラム

（経営技術課）

（２）意欲ある人材の確保・育成

新規参入者や女性など、産地が主体となって栃木で農業に取り組む多様な人材の確保・育成を進めています。

② 女性が活躍する環境づくり

○ にら女性勉強会の実施（河内地域）

- 河内地域の「にら女性勉強会」は、女性生産者や女性パートナーが定期的に集まり、技術向上や経営改善を目指して取り組む「参画型」の会です。
- 令和７（2025）年度は、生産技術の講習会や現地検討会を開催したほか、複数のコーディネーターと連携してレシピカードを作成しました。完成したレシピカードは、小学校やマルシェ、直売所等で配付し、地元産にらの認知度向上と消費拡大に取り組みました。
- 勉強会をきっかけに、女性が一歩前に踏み出すことで、産地全体のさらなる活性化が期待されます。



にらレシピ集完成



学校給食での食育

（河内農業振興事務所）



（２）意欲ある人材の確保・育成

新規参入者や女性など、産地が主体となって栃木で農業に取り組む多様な人材の確保・育成を進めています。

③ 多様な人材の確保・育成

○　農福連携技術支援者育成研修を県内で初めて開催

- 農福連携の更なる推進のため、農福連携の実践手法を具体的に助言・指導できる専門人材「農福連携技術支援者」を育成する研修を本県で初めて開催しました。
- ３日間に渡り研修を実施し、受講した20名全員が農林水産省から農福連携技術支援者の認定を受けました。
- 今後も、農福連携技術支援者を育成するとともに、能力向上の機会の創出や現場で活躍できる仕組みづくりに努めます。



障害特性に対応した支援技法研修の様子



福祉事業所見学見学の様子
（農政課）

○　地域まるっと中間管理方式研修会の開催（塩谷南那須地域）

- 高齢化や担い手不足等により農地を守ることが難しい地域では、多様な担い手による営農の検討が必要な状況です。
- 地域が抱える様々な課題解決につなげるため、「地域まるっと中間管理方式研修会」を開催しました。生産者など53名が出席し、魅力ある地域づくりについての理解を深めました。
- 今後も、地域農業の維持発展を図るため、多様な担い手の確保や農村地域の収益力向上に向けた取組等を支援していきます。





研修会の様子
（塩谷南那須農業振興事務所）

（２）意欲ある人材の確保・育成

新規参入者や女性など、産地が主体となって栃木で農業に取り組む多様な人材の確保・育成を進めています。

③ 多様な人材の確保・育成

○ JAなすの梨部会における新規担い手受入れ体制整備の推進（那須地域）

- 生産者の高齢化と梨園地の縮小が進む中では、園地の継承及び新規担い手の受入れ体制の整備が必要です。
- そこで、全戸を対象に経営意向調査を実施し、将来の貸与可能園地を把握してリスト化しました。また、新規参入希望者2名へ園地情報を提供しました。
- 今後は、地域の実態に応じた受入れ体制を構築するための策定書を整備し、梨園の流動化および継承支援をより一層推進していきます。



園地継承関係打ち合わせ



継承予定園地

（那須農業振興事務所）

○ 円滑な事業承継に向けた伴走支援（安足地域）

- 安定した食料生産や将来にわたる農地保全には、後継者への円滑な事業承継及び営農支援が必要です。そのため、事業承継士を交えた相談会を開催しました。
- •相談会では、管内2経営体が参加し、経営主と後継者のほか、市職員や農協職員、安足農業振興事務所職員等が同席の上、事業承継計画の策定を最終目標に据え、話合いを行いました。
- 今後もこうした取組を通して、事業承継に向けた支援を行っていきます。





相談会の様子

（安足農業振興事務所）